

# 平成30年度 水生生物生息調査業務 報告書(概要版)

## 調査概要

水辺での活動に適した地点に生息する水生生物等の調査を行い、結果を市民等に発信することによって、市民が水環境と親しむ機会を創出することを目的とし、創成川、屯田川、うらうち川、三里川、小野幌川、穴の川、北の沢川、琴似発寒川、濁川、軽川の10河川で、平成30年11月8～15日に、投網、タモ網、サデ網等を用い、水生生物の採集を行った。



## 調査結果

- 本調査において、魚類は7目11科23種確認された。
- 本調査において、魚類以外は10目14科14種確認された。

No.	目名	科名	種名
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	カワヤツメ属の一種
2	コイ	コイ	コイ
3			ゲンゴロウブナ
4			タイリクバラタナゴ
5			ヤチウグイ
6			エゾウグイ
7			ウグイ
8			ウグイ属の一種
9			モツゴ
10		ドジョウ	ドジョウ
11	サケ	フクドジョウ	フクドジョウ
12		サケ	ニジマス
13			シロザケ
14	トゲウオ	トゲウオ	エトモヨ
15			トモヨ属淡水型
16	ダツ	メダカ	ヒメダカ
17	スズキ	カジカ	カンキョウカジカ
18		ハゼ	ヨシノボリ属の一種
19			ウキゴリ
20			シマウキゴリ
21			ジュズカケハゼ
22		タイワンドジョウ	カムルチー
23	カレイ	カレイ	ヌマガレイ

種数計 7目11科23種

No.	目名	科名	種名
1	新生腹足	カワニナ	カワニナ
2	汎有肺	モノアラガイ	モノアラガイ
3	汎有肺	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ
4	ヨコエビ	キタヨコエビ	オオエゾヨコエビ
5	ワラジムシ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)
6	エビ	ヌマエビ	ヌマエビ属の一種
7		テナガエビ	スジエビ
8		モクズガニ	モクズガニ
9	トンボ	サナエトンボ	モイワサナエ
10	カメムシ	アメンボ	アメンボ
11		コオイムシ	オオコオイムシ
12		マツモムシ	マツモムシ
13	コウチュウ	ゲンゴロウ	ヒメゲンゴロウ
14	無尾	アカガエル	ツチガエル

種数計 10目14科14種

注) 種名および配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成30年度)」に準拠した。

## 着目すべき種

- 本調査において、着目すべき種(重要種および外来種)として6目9科15種の魚類、5目5科5種の魚類以外の水生生物を確認した。
- 屯田川は他調査地点と比べ、外来種の確認が多かった。

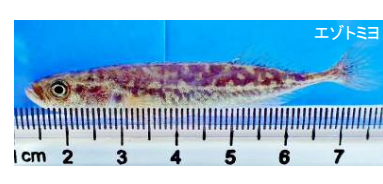
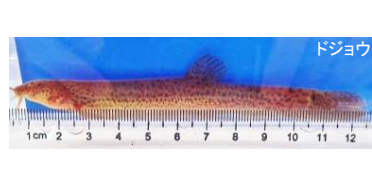
No.	科和名	種和名	重要種				外来種													
			環境省 RL (2019)	北海道 RL (2018)	札幌市 RL (2016)	北海道 BL (2010)	創成川	屯田川	うらうち川	三里川	小野幌川	穴の川	北の沢川	発寒川 琴似	濁川	軽川				
1	ヤツメウナギ	カワヤツメ属の一種*	(VU)(NT)	(Cr)(Nt)	(EN)															
2	コイ	コイ				A3		●												
3		ゲンゴロウブナ	EN			A3		●												
4		タイリクバラタナゴ				A3		●												
5		ヤチウグイ	NT	Nt	NT			●					●							
6		エゾウグイ		N			●					●	●	●				●		
7		モツゴ				A3	●	●								●				
8	ドジョウ	ドジョウ	NT			B		●												
9	サケ	ニジマス				A2								●						
10		サクラマス(ヤマメ)	NT	N	N							●			●					●
11	トゲウオ	エトモヨ	VU	Nt	NT							●								
12	メダカ	ヒメダカ	VU			B			●											
13	カジカ	カンキョウカジカ		N										●					●	
14	ハゼ	ジュズカケハゼ	NT																●	
15	タイワンドジョウ	カムルチー				A3		●												
種数計								2	7	1	0	4	2	2	3	3	1			
							6目9科15種													

注) 種名および配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成30年度)」に準拠した。  
 ※) カワヤツメ属の一種は、アンモシーテス幼生の確認であり、ミツバヤツメ、スナヤツメ北方種、シベリアヤツメ、カワヤツメの可能性がある。ミツバヤツメの場合、北海道RL(2018)「絶滅危惧IA類(Cr)」、スナヤツメ北方種の場合、環境省RL(2019)「絶滅危惧II類(VU)」、シベリアヤツメの場合、環境省RL(2019)「準絶滅危惧(NT)」、北海道RL(2018)「準絶滅危惧(Nt)」、カワヤツメの場合、環境省RL(2019)「絶滅危惧II類(VU)」、北海道RL(2018)「準絶滅危惧(Nt)」、札幌市RL(2016)「絶滅危惧IB類(EN)」に選定されている。

## 魚類以外

No.	科和名	種和名	重要種				外来種													
			環境省 RL (2019)	北海道 RL (2001)	札幌市 RL (2016)	北海道 BL (2010)	創成川	屯田川	うらうち川	三里川	小野幌川	穴の川	北の沢川	発寒川 琴似	濁川	軽川				
1	モノアラガイ	モノアラガイ	NT										●							
2	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	DD										●							
3	ヌマエビ	ヌマエビ属の一種				A3						●							●	
4	コオイムシ	オオコオイムシ		R	NT							●								
5	アカガエル	ツチガエル				A3							●							
種数計								0	2	0	0	4	0	1	1	1	0			
							5目5科5種													

注) 種名および配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成30年度)」に準拠した。



# 平成30年度 水生生物生息調査業務 報告書(概要版)

## 河川別調査結果

### 9. 濁川 稲星橋



魚類 9種類  
 エゾウグイ、ウグイ、フクドジョウ、シロザケ、トミヨ属淡水型、カンキョウカジカ、ウキゴリ、ジュスカケハゼ、ヌマガレイ  
 魚類以外 4種類  
 オオエゾヨコエビ、ヌマエビ属の一種、スジエビ、モクスガニ



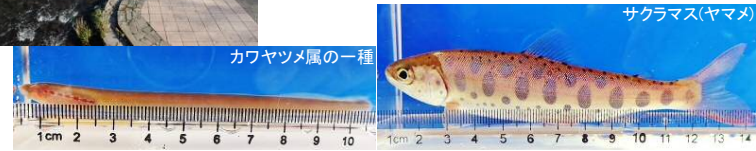
抽水植物等が繁茂し、水生生物の生息場として優良である。  
 河床に泥が堆積し、足をとられるので危険である。

### 8. 琴似発寒川 なかよし橋



本流と分流に分かれ、多様な流れが創出されている。  
 流速が速い箇所はあるが、水深は浅く、大きな危険は無かった。

魚類 5種類  
 カワヤツメ属の一種、ウグイ、ウグイ属の一種、モツゴ、フクドジョウ、サクラマス(ヤマメ)  
 魚類以外 4種類  
 モノアラガイ、オオエゾヨコエビ、スジエビ、モイワサナエ



### 7. 北の沢川 上の橋



魚類 4種類  
 エゾウグイ、フクドジョウ、ニジマス、トミヨ属淡水型  
 魚類以外 2種類  
 オオエゾヨコエビ、ツチガエル



水生生物の移動を阻害する横断工作物が複数あった。  
 杭柵が朽ちて隙間ができており、その隙間を魚類が利用していた。

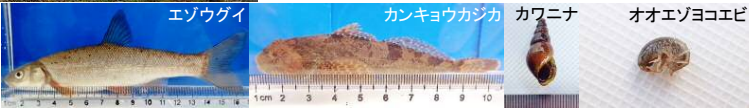
### 6. 穴の川



河道全域が整備されており、多数の河川横断工作物が確認された。横断工作物にはスリット等が整備されており、水生生物に対して配慮された作りとなっていた。

魚類 3種類  
 エゾウグイ、フクドジョウ、カンキョウカジカ

魚類以外 2種類  
 カワナナ、オオエゾヨコエビ



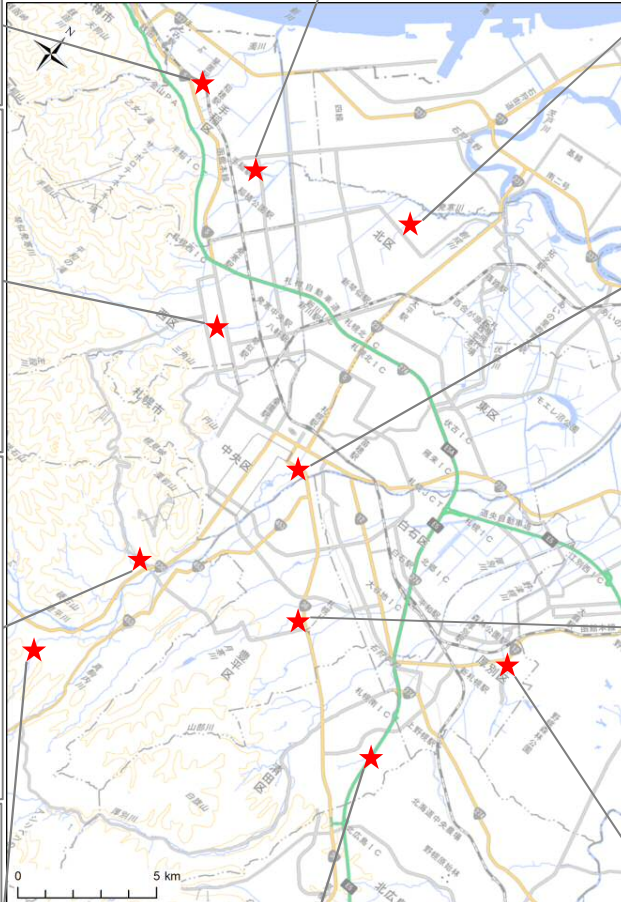
### 10. 軽川 前田みどり公園



流れが一樣で隠れ家となる環境は少なかった。  
 大きな危険は無かった。

魚類 5種類  
 ウグイ、フクドジョウ、サクラマス(ヤマメ)、ウキゴリ、シマウキゴリ

魚類以外 4種類  
 カワナナ、オオエゾヨコエビ、スジエビ、モイワサナエ

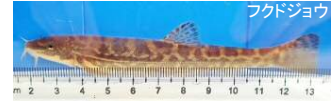


### 4. 三里川 里塚橋



河道全域が整備されており、流速が速く、水深が浅い環境であり、全域が鉄性細菌により赤く着色していた。

魚類 1種類 魚類以外 1種類  
 フクドジョウ オオエゾヨコエビ



### 2. 屯田川 屯田北公園



水域全体が抽水植物や水草に覆われており、水生生物の良い生息環境になっている。確認された水生生物は外来種が多く、人為的な影響を大きく受けた地点であると考えられる。

魚類 8種類  
 コイ、ゲンゴロウブナ、タイリクバラタナゴ、ヤチウグイ、モツゴ、ドジョウ、トミヨ属淡水型、カマルチー

魚類以外 6種類  
 オオエゾヨコエビ、ミズムシ(甲)、ヌマエビ属の一種、オオコイムシ、マツモムシ、ヒメゲンゴロウ



### 1. 創成川 南4条橋



調査範囲内である南4条橋下流では生物を確認することが出来ず、調査範囲外である南4条橋上流の抽水植物付近で数種の水生生物を確認した。

魚類 6種類  
 エゾウグイ、ウグイ、ウグイ属の一種、モツゴ、フクドジョウ、トミヨ属淡水型、ヨシノボリ属の一種

魚類以外 1種類  
 アメンボ



### 3. うらうちない川 福住小川公園



魚類 3種類  
 ウグイ属の一種、フクドジョウ、ヒメダカ

魚類以外 2種類  
 カワナナ、ミズムシ(甲)

河道全域が整備されており、流速が速い流路と、流速が遅い広場部(2箇所)の2つの環境があった。



### 5. 小野幌川 森林公園橋



魚類 4種類  
 ヤチウグイ、エゾウグイ、ウグイ属の一種、サクラマス(ヤマメ)、エゾトミヨ

魚類以外 8種類  
 カワナナ、モノアラガイ、ヒラマキミズマイマイ、オオエゾヨコエビ、ヌマエビ属の一種、マツモムシ、ヒメゲンゴロウ、ツチガエル

水深が深く、河岸には抽水植物が繁茂していた。  
 河岸の抽水植物は浮島状態になっており、活動に際しての安全確保が課題となる。



# 平成30年度 水生生物生息調査業務 報告書(概要版)

## 市民利用時の適性

各河川において、市民利用の場としての適性を、「市民利用の場の広さ」、「安全性」、「水辺環境」、「魚種」、「魚類の個体数」、「総合」の6項目について5段階で評価した。

河川名	地点名	地点概況	評価						備考
			市民利用の場の広さ	安全性	水辺環境	魚種	魚類の個体数	総合	
創成川	南4条橋下流		★★★★★ 整備されており、広い	★★★★★ 多少流速が速い	★★ 繁華街を流れる川であり、ゴミ等が浮く	★★★★★ 6種類	★ 8個体	★★★	市民利用の場としては安全であるが、整備域では魚類を確認することはできていない。
屯田川	屯田北公園内		★★★ 整備されているが、狭い	★★★ 河川内に植物が繁茂し、動きづらい	★★★ 少量のゴミが浮く	★★★★★ 8種類	★★★★★ 69個体	★★★	魚種、個体数共に豊富であるが、市民利用の場は狭く、河道内に生える植物に足をとられるため、事前に対策を講じないと危険である。確認できる魚類の多くは外来種であり、「在来種・外来種について考える」といった環境教育の場としての利用に適していると考えられる。
うらうちない川	福住小川公園内		★★★★★ 整備されており、広い	★★★★★ 問題はない	★★★ 少量のゴミ等が浮く	★★ 3種類	★★★ 28個体	★★★★★	確認された魚種は少ないが、河岸部は整備されており、市民利用の場としては安全である。
三里川	平岡公園内(里塚橋)左岸		★★★★★ 整備されており、広い	★★★★★ 問題はない	★★ 鉄性細菌により赤く変色している	★ 1種類	★ 2個体	★★★	市民利用の場としては安全であるが、鉄性細菌により河岸、河床、河川水が着色していた。魚種、個体数共に少ない。
小野幌川	森林公園橋下流		★ 大きな石で足場を作っているが、極めて狭い	★ 水深が深く、河岸が浮島状態のため危険	★★★ 少量のゴミ等が浮く	★★★★ 4種類	★★★★★ 73個体	★★	魚種、個体数共に豊富であるが、活動の場は狭く、足場となる大きな石に躓き、転倒する危険性がある。水深はとて深く、河岸は抽水植物の浮島状態であるため、非常に危険である。確認された魚類の個体数は多いが、安全性を考慮すると市民利用の場としては適していない。

注) ★は5段階評価とする。

# 平成30年度 水生生物生息調査業務 報告書(概要版)

## 市民利用時の適性

各河川において、市民利用の場としての適性を、「市民利用の場の広さ」、「安全性」、「水辺環境」、「魚種」、「魚類の個体数」、「総合」の6項目について5段階で評価した。

河川名	地点名	地点概況	評価					備考	
			市民利用の場の広さ	安全性	水辺環境	魚種	魚類の個体数		総合
穴の川	始点(石山4条6丁目)付近		★★★★★ 整備されており、 広い	★★★★★ 問題はない	★★★★★ きれいである	★★ 3種類	★★★ 25個体	★★★★★	確認された魚種は少ないが、河岸部は整備されており、市民利用の場としては安全である。
北の沢川	上の橋下流		★★★★ 河岸は草地だが、 広い	★★★★ 多少流速が速い	★★ ゴミ等が浮く	★★★ 4種類	★★ 18個体	★★★	市民利用の場としては安全であるが、河岸は整備されておらず、草地になっているため近づきづらい。
琴似発寒川	なかよし橋		★★★★★ 整備されており、 広い	★★★★★ 一部深い箇所がある	★★★★★ きれいである	★★★ 5種類	★★★★★ 64個体	★★★★★	市民利用の場としては安全であり、本流と分流で異なる環境が存在するため「環境により生息する魚種の違い」や、琴似発寒川の歴史的背景から「都市河川における魚類の遡上について」といった環境教育の場としての利用に適している。
濁川	稲星橋		★★ 整備されているが、 とても狭い	★★ 河床に厚い泥が堆積 しており、足をとら れる	★★ ゴミ等が浮く	★★★★★ 9種類	★★★★★ 56個体	★★	魚種、個体数共に豊富であるが、河床には泥が堆積しており、足をとられるため危険である。
軽川	前田みどり公園		★★★★ 河岸は草地だが、 広い	★★★★★ 問題はない	★★ ゴミ等が浮く	★★★ 5種類	★★★★ 32個体	★★★	市民利用の場としては安全であるが、河岸は整備されておらず、草地になっているため近づきづらい。

注) ★は5段階評価とする。